

甲状腺腫瘍における癌関連遺伝子の発現機能解析に関する情報公開

1. 研究の対象

1993年4月1日から2023年12月31日の間に、名古屋大学医学部附属病院で甲状腺腫瘍の手術を受けられた患者さん（全ての方ではなく、手術前に試料を採取することについて同意をいただきました一部の方を対象としています）

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：名古屋大学医学部附属病院において、過去に甲状腺腫瘍の手術を受けられた方あるいはこれから手術を受けられる方を対象とし、手術で採取した組織とカルテから抽出したデータを利用して、“がんの発生や進行に関与する可能性がある遺伝子やタンパク質”の量について解析を行うことで、これらの遺伝子やタンパク質の甲状腺腫瘍における役割を明らかにし、甲状腺腫瘍の診断・治療に役立てることができないかについて検討することがこの研究の目的です。

研究方法：名古屋大学大学院医学系研究科移植・内分泌外科学において、手術で採取した甲状腺腫瘍組織と周囲の正常甲状腺組織からDNAやRNA、タンパク質を抽出し、目的とする遺伝子やタンパク質の量が、甲状腺腫瘍の性質や予後と関連していないか調べます。患者さんのカルテ情報からは、年齢・家族歴・病理検査結果・術後の薬物療法内容・予後の項目を参照します。本研究のために検査を追加したり、余分に組織を切除したりするなど、患者さんの負担となるようなことは行いません。集められた情報を解析し、目的とする遺伝子が甲状腺腫瘍の性質と関連するかどうか、そして新たな診断法や治療法につながる可能性について検討します。

研究期間：実施承認日～2024年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術で摘出した甲状腺腫瘍組織と、その周囲の正常甲状腺組織 等

情報：カルテ番号、病歴、病理検査結果、術後の薬物療法内容、予後 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 病院助教 柴田雅央

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2251

ファックス 052-744-2252

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 科長 菊森豊根